

執筆者紹介

蔡 芒錫 (CHAE In-Seok) 本学経営学部教授

〈編集後記〉

『専修大学社会科学研究所月報』726号をお届けします。本号では、6本の定例研究会報告と専修大学経営学部教授 蔡 芒錫所員の玉稿1本が掲載される運びとなりました。発行に携われた皆様様に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

蔡 芒錫所員の論稿は、マネジメント論における研究方法について議論の俎上に載せ、その問題点を明らかにすると共に、ありうべき方法論のあり方について論考を加えるものである。蔡 芒錫所員は、マネジメントにおいて多様な研究方法を駆使して、複雑な現象に迫ることの必要性を強調した上で、現状において研究の多くが量的方法に基づく仮説検証型の研究に過度に傾斜していることについて問題提起を行っている。そして各種の検討を通じて、そうした研究手法上の偏りを是正していくことの必要性、組織エスノグラフィー研究の意義、自己再帰的な自己エスノグラフィー研究の必要性について論じるものである。

蔡 芒錫所員の論稿は、文字通り研究史上に一石を投じるものであり、多くの議論が喚起されことを確信している。

(山縣 宏寿)

2023年12月20日発行

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 大矢根 淳

製作 株式会社グラフィカ・ウエマツ

新宿区下落合4-21-19 目白LKビル3F 電話 (03)6915-3835
